



発行 編集 府中市消防団
府中市消防団
広報委員会
第41号
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
TEL 042 - 335 - 4068

府中市消防団出初式
平成27年1月7日(水)府中公園



表彰状授与の様子



分列行進の様子

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、平成27年1月7日(水)、府中公園において大勢の市民の方々に見守られる中、盛大に挙行されました。
この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、普段からの操法訓練や規律訓練の成果を発揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓い合う場でもあります。

式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内で睦消防組による伝統の木やり行進、梯子のりが行われ、観客を魅了する素晴らしい演技が披露されました。
志村副団長による半鐘を合図に式典が始まり、表彰では高野市長から消防団歴15年の団員の方々に感謝状が授与されました。続いて、横田団長から、永年勤続表彰として消防団歴5年、10年、15年、20年、25年、30年、引続き、吉田府中消防署長より、優良分団表彰として第3分団、第9分団、第10分団、第12分団、第16分団、第18分団が表彰され、東京都消防協会より優良団として府中市消防団が表彰

5年勤続 (15名)
第1分団 団員 小林 悟
第4分団 団員 鈴木雄一郎
第5分団 団員 内海 保彦

【表彰を受けて】
平成27年の年頭を飾る出初式において、小場副団長とともに横田団長から永年勤続30年の表彰をいただきました。これもひとえに、消防団の諸先輩方や仲間達、地域の方々、そして家族の理解と協力のおかげだと感謝しています。
昭和58年4月に消防団に入団してから、多くの思い出がありますが、消防団活動を通じて知り合えた多くの方々や経験を自らの財産とし、30年の節目に、気持ちを新たに引き締めたいと思います。
東日本大震災をはじめ広島県での土砂災害や長野県

での御嶽山の噴火など、多種多様な災害が起る危険性が高まっている中、消防団に対する期待も年々強くなっていると感じています。消防団の伝統と誇りを持ちながら生まれ育った府中の安心・安全のために、今後も消防団活動に邁進していく所存です。
団本部 副団長 大久保 幸一

永年勤続者表彰

第5分団 団員 内海 真吾
第6分団 団員 波多江大介
第8分団 団員 鈴木敬一郎
第8分団 団員 福島 聖史



副団長 大久保 幸一

第9分団 団員 賀川 和彦
第9分団 団員 小澤 亮
第11分団 団員 廣瀬 良太
第13分団 団員 藤原 光輔
第13分団 団員 志村 親一
第14分団 団員 大川 信也
第17分団 団員 小川 宏行
第18分団 団員 朝倉 宏行

第9分団 団員 田中 敬輔
第9分団 団員 渡邊 大介
第9分団 団員 渡邊 淳二
第8分団 団員 林 克弥
第7分団 団員 秋山 直樹
第7分団 団員 塚田 隆太
第6分団 団員 大谷 泰彦
第5分団 団員 堀江 成典
第5分団 団員 永峯 寛士
第3分団 団員 都築 和浩
第3分団 団員 照川 寛樹
第2分団 団員 田村 茂
第1分団 団員 小川 佑司

10年勤続 (24名)
第9分団 団員 賀川 和彦
第9分団 団員 小澤 亮
第11分団 団員 廣瀬 良太
第13分団 団員 藤原 光輔
第13分団 団員 志村 親一
第14分団 団員 大川 信也
第17分団 団員 小川 宏行
第18分団 団員 朝倉 宏行

第9分団 団員 石川 直次
第10分団 団員 石田 一博
第11分団 団員 岡野 亨
第12分団 団員 石原 昌巳
第12分団 団員 遠藤 清詩
第14分団 団員 赤岡 大志
第14分団 団員 石川 直樹
第16分団 団員 赤松原 無双
第16分団 団員 小松原 哲雄
第17分団 団員 市川 貴浩
第18分団 団員 石井 康弘

第10分団 団員 白井 克寿
第10分団 団員 白井 一真
第10分団 団員 滝島 文一
第8分団 班長 長塚 慶憲
第8分団 班長 石澤 孝弥
第8分団 班長 和田 良輔
第7分団 班長 杉山 正樹
第6分団 班長 芳賀 山本 加藤 裕一
第5分団 班長 山本 正樹
第4分団 班長 加藤 裕一

15年勤続 (15名)
第9分団 班長 石川 直次
第8分団 班長 石田 一博
第8分団 班長 岡野 亨
第7分団 班長 石原 昌巳
第6分団 班長 遠藤 清詩
第6分団 班長 赤岡 大志
第4分団 班長 赤松原 無双
第4分団 班長 小松原 哲雄
第3分団 班長 市川 貴浩
第3分団 班長 石井 康弘


第15分団 班長 井上 泰一
第14分団 班長 高篠 博史
第14分団 班長 内藤 健一
第11分団 班長 小園井 亮昌
第11分団 班長 丸茂 利矢
第3分団 班長 丸茂 利矢

30年勤続 (2名)
副団長 小場 淳吾
副団長 大久保 幸一

25年勤続 (3名)
副団長 金子 裕一
副団長 志村 誠
副団長 本間 郁浩

20年勤続 (6名)
第13分団 班長 朝倉 直次
第16分団 班長 有働 晃一
第16分団 班長 市川 長司
第16分団 班長 吉川 賢一
第18分団 班長 目代 良一

歳末特別警戒
平成26年12月28日(日) 30日(火)に歳末特別警戒を実施しました。
この歳末特別警戒は、毎年12月28日～30日の3日間で行い、警戒本部を府中中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所)に設置し、消防ポンプ車、ホース等の機械器具及び水利等の消防施設を点検します。また、各分団は、それぞれの警戒区域を巡回し、地域住民へ防火・防災の意識を啓発するための広報及び警戒にあたります。
高野市長、鈴木都議会議員及び団本部の各防災センターへの巡察を2日間に分けて行い、各分団に激励を行いました。
最終日には、MCA無線機を使った震災時通信訓練を行いました。これは、震災時において円滑にMCA無線機を運用できるようにするための実践的な通信訓練であり、技術向上に効果的な訓練となりました。



団本部による防災センターへの巡察の様子

府中市消防団 平成27年度スケジュール

- 4月 入退団式(1日) 正副分団長研修・新入団員教育訓練(大國魂神社) 互助会代議員会
- 5月 合同水防訓練(多摩川緑地)
- 6月 機関員交通安全講習会 互助会親善ソフトボール大会
- 9月 北多摩地区消防大会
- 10月 互助会健康増進大運動会 総合防災訓練
- 11月 機関員運用訓練(多摩川緑地) 操法審査会(現業事務所) 秋の火災予防運動(9日～15日)
- 12月 規律訓練(府中公園) 歳末特別警戒(28日～30日)
- 1月 出初式(7日・府中公園)
- 2月 互助会家族慰安事業
- 3月 春の火災予防運動(1日～7日)

分団紹介

第1分団

私たちが第1分団は、木村浩二分団長を筆頭とし、20代から40代の会社員や自営業などの総勢20名で構成されています。中には、祖父や父親も消防団経験のある二世代で活躍している団員もいます。

警戒区域は、押立町全域で、出動区域は、小柳町、白糸町、朝日町です。また、多摩川に隣接する地域ですので、河川敷火災にも出動します。

第7分団

私たちが第7分団は、栗林徹分団長以下23名体制で地域の防火防災、消防活動の訓練を日々行っております。警戒区域は、八幡町、緑町、日吉町であり、火災発生時には、警戒区域に加え浅間町、新町、是政、若松町、天神町、幸町、府中町、宮町が出動区域となります。

主な活動は、月に2回のポンプ車による町内巡回および資機材の点検、火災を想定した訓練等を行っており、定例行事としては、規律訓練や水防訓練および防災訓練、春と

災害防運動、歳末特別警戒、月2回ある点検で機材の動作確認や放水訓練などがあります。

最近では、台風接近時の排水溝の点検や倒木の撤去なども行い、活動は多岐にわたります。他にも市や学校、コミュニティ協議会と協力して防災訓練や地域のイベントに参加し、住民の方々と交流を図り、消防団活動へのご理解をいただけるよう活動しています。

地域の皆様が安心して生活できるように、これからも第1分団は活動に励みますので、今後も温かいご支援をよろしく

秋の火災予防運動、歳末特別警戒、機関員運用訓練などを行っております。

また、地域への啓発活動の一環として夏祭りの警戒や地元自治会の防災訓練への参加など、地元との連携を強める活動を行っています。

東日本大震災以降、地域の防災意識は向上し、自助・共助・公助という言葉も一般に広く認識されてきました。実際に大規模災害が起きた場合には、私たちが地域の先頭に立ち、共助の活動を進めていかなければなりません。そのためにも常に防災の意識を持ちながら地元の各団体と協力

ター出来るよう励んでおり、「市民の生命と財産を守る」を合言葉にいざという災害に備え活動しております。

ここ数年、当分団の団員の割合は会社員が増えており、昼間の火災の対応には自営業の団員に頼っている傾向にあります。

今後は、地域に活動する若い人材を育てていくことも重要な課題だと思っています。これからも地域の皆様と協力・連携し消防団活動を行ってまいりますので、ご支援を

くお願いします。

第1分団 班長

小林 洋平



し、地域住民の方々の安心・安全を守るために、団員一丸となってこれからも消防団活動を行ってまいります。

第7分団 団員

林 耕多郎



よろしくお願いします。

第12分団 団員

大野 正典



救命講習会

人が倒れていたり、心肺停止状態の人を発見したり、AEDを使う状況に遭遇したことが今までの私の人生ではありませんでしたが、今後、もしそのような状況に遭遇した時に、迅速な救命活動が実践できるよう教えていただけた有意義な講習でした。

胸骨圧迫や人工呼吸など心肺蘇生に必要な知識は持ち合わせていたつもりでしたが、実際に使ってみると操作が簡単で安心しました。もし人が倒れた場合には、AEDの訓練をしたことがあるという自信

AEDについては、講習前は使用することに対して自信がなくて不安がありました。実際に使ってみると操作が簡単で安心しました。もし人が倒れた場合には、AEDの訓練をしたことがあるという自信

を持つて、冷静に対応したいと思えます。焦らないで対処するためにはさらに講習会に参加し、自分の中の救命に対する認識を養っていかねければいけないなと感じました。

いつ訪れるかわからない緊急事態に対して、傍観者にならず、私が主体となって習得した技術を正確な判断で実行できるように日々の生活を送って行こうと思えました。

第1分団 班長

小林 洋平



救命講習会の様子

総合防災訓練

平成26年10月26日(日)に、総合防災訓練が浅間中学校、第二中学校、第五小学校の三校同時開催で行われました。

浅間中学校校庭には、早朝から多くの市民の方々が集まり、初期消火訓練や避難所体験など積極的に参加してくださる姿が見られ、改めて防災に対する強い関心があることを認識しました。

初期消火訓練では、実際の消火器を使って消火訓練を行いました。小型ポンプによる放水訓練では、消防団員の操作説明を注意深く聞いていただき、正しい操作ができていました。また、消防少年団の消防演習では、子供たちの機敏に動く姿に大変感銘を受けました。

今回の総合防災訓練では、地域の方々と一緒に活動を

行う中で、防災に関する意識や関心が一段と高まりました。さらに、市民同士が顔を合わせ、声を掛け合うことによつて自助・共助の気持ちも高めることができたと思います。私自身も今まで以上に地域の防災活動に貢献したいと感じた訓練でした。

第9分団 団員

加藤 哲雄



総合防災訓練の様子

規律訓練



規律訓練の様子

平成26年12月14日(日)に府中公園において、出初式予行練習及び規律訓練が晴天のなか実施されました。

出初式が厳粛な中、毎年、新年を迎える行事として行われていることは、みなさんご存じだと思います。この出初式を市民の方々に自信を持ってご覧いただけるように予行練習を毎年12月に行っていることもこの記事で知ってもらいたいと思います。

予行練習では、消防団員の制服を着用し、整列位置の確認、立ち方や表彰の受け取り方を訓練いたしました。予行練習とはいえ、消防団

訓練

員が揃った整列姿は厳正で見事でした。

また、その後行われた規律訓練においては、整列、方向転換の方法、号令による基本的な動作や正しい姿勢などを訓練しました。

今年度は府中市消防団創立60周年にあたり、記念広報紙に掲載するため、「60」という数字を消防車両で描く撮影も行われました。車両もきれいな直線に駐車し、その周りを消防団員が囲み上空より撮影することで、記念号にふさわしい表紙を飾る写真撮影ができました。

第16分団 団員

小松原 哲雄



規律訓練の様子

健康増進大運動会



熱戦を繰り広げる消防団員

消防団員の健康増進を目的として開催される健康増進大運動会が、平成26年10月12日(日)、市民陸上競技場において開催されました。消防団員とその家族、また消防署からも1チームが出場し、明るい雰囲気の中で熱戦が繰り広げられました。

【総合】

優勝	第7分団
準優勝	消防署
3位	第11分団
【600mリレー】	
優勝	第7分団
準優勝	第5分団
3位	消防署

編集後記

第41号となりました今回の消防団だよりは、晴天のもと行われた出初式を始め、分団紹介など消防団の日頃の活動を掲載した内容になっています。

1月7日(水)の出初式当日の朝刊新聞折り込みでは、消防団だよりの特別号である60周年記念号を発行し、消防団の歴史を皆様にお伝えできたと思います。

今後とも、広報委員会では、消防団だよりを通じてたくさんの方々に消防団の活動について伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

第14分団 団員

石川 将人



広報委員会名簿

会長	横田 実
副会長	小場 淳吾
副団長	堀江 一男
広報委員長	石川 将人
第1分団	小林 洋平
第2分団	榎本 哲児
第3分団	加藤 泰裕
第4分団	鈴木 雄一郎
第5分団	堀江 成典
第6分団	鈴木 敬一郎
第7分団	加辺 良輔
第8分団	林 耕多郎
第9分団	岡部 貴紀
第10分団	白井 克寿
第11分団	廣瀬 良太
第12分団	鈴木 祐太
第13分団	相澤 秀吉
第14分団	大野 正典
第15分団	越智 昌弘
第16分団	小松原 哲雄
第17分団	稲村 幸一
第18分団	